



有松まちづくりの会役員会（6月27日）

竹田会長より、6月11日12日に開催された第45回全国町並みゼミ新潟市大会の報告がありました。有松から4名が参加。藤枝副会長が有松を紹介され、併せて有松で開催する東海ブロックゼミを11月26日に開催すると発表しました。

予定していた安城七夕まつりへの参加は、コロナ禍の為今年も参加を見合わせるようになりました。

町並み保存への意識を高めていただくために、有松東海道沿いにお住いの皆さんにリーフレットのポスティングを実施することになりました。

ありまつ公園の紫陽花「有松」⇒



エッセイ

岡家住宅にて

建物公開をしている岡家住宅は、江戸時代末期の重厚な有松の絞り商の建築形態をよく残し、ガイドの"あないびと"にとっても有松の魅力を紹介する上で欠かせない施設となっている。

普段、町並みガイドでは団体客が少なくなく、いわば一方的に紹介することが多い。ところが、岡家住宅では少人数のご案内がほとんどで、そこでの見学者との語らいが"あないびと"の楽しみになっている。本当に有松が好きでたまらない人がたくさんいることに気づかされもする。至福の時間でもある。

6月12日(日)、先週の有松絞りまつりでの人出が嘘のように、東海道を行き交う人はまばら。それでも岡家住宅には80人近くの見学者が訪れてくださった。

東海道を西(鳴海方面)から歩いてこられたご夫婦は、「思いがけずこんな立派な町並みに出会うことができました」と心底驚いての話しぶりでした。きっと江戸時代の旅人も同じような思いをしたのでしょう。また、近くでの茶会に参加された着物のご婦人はたくさん質問をされました。2階を指して「天井が茶室みたい」、1階天窓の部屋では「壁紙は何ですか」と。岡家住宅では本格的な建物調査は来年度までに実施される予定。これらの調査で、質問に対する答えが見つかるかもしれません。今は、見学者との謎解きのような語らい自体を楽しんでいます。有松の魅力に取りつかれた者同士として。



西町にたたずむ岡家住宅

〔建物公開日時〕

毎週土・日曜日(年末年始除く)

10:30~15:30 見学無料

ただし、

7月~10月28日は国際芸術祭の展示場となるため無料公開はお休みです。

3年ぶりの開催 有松絞りまつり (6月4日・5日)

町を歩いていて、事業者も観光客も喜びに満ちた表情を見せていました。事業者は久しぶりに商品を手に取ってもらえることが、観光客は近場で的外出ができるようになったことが笑顔につながっているのかもしれない。

コロナ禍前を超える8万5千人もの人出で東海道では人混みが結構見られました。若い子どもさん連れが増えました。久しぶりの家族での外出先として、この有松絞りまつりが注目されたようです。



テープカット 山上実行委員長(左)と河村市長(右)

東海道の人混みと子どもたち



買う・体験する
見る



「第38回絞りまつり」を終えて

コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せてきたばかりでなく、絞り体験やスタンプラリーの実施など体験型イベントの導入・多くのキッチンカー出店など実行委員会の取り組みも絞りまつり成功に効果的であったようです。

有松で絞り製品を買い求めるだけでなく、古い家並み・山車をはじめとする有松が醸し出す文化を味わおうとする方も多く見られました。着物客も以前にも増して多く見られ、今後の有松に希望を感じさせる2日間でありました。

●有松・鳴海絞会館では・・・



絞会館1階売店



絞会館駐車場

●有松 手芸部(旧山田薬局)では・・・

国際芸術祭(7/30～10/10)に参加される宮田明日鹿氏は、家庭用編み機や糸を使っているアーティスト。編み物を学びあい、おしゃべりをする場として手芸部を有松でも立ち上げようと旧山田薬局でワークショップ開催。使用済みの括り糸で手芸の素材として使う太い糸を編み機で作っていました。

「おしゃべりしながら編む手を動かす作業を通して、様々な世代が何気ない会話の中で、見過ごされてきた出来事や家の事柄も社会と密接につながっていることを参加者自身が気づいてほしい」とのことのようです。

有松手芸部(旧山田薬局)⇒



国際芸術祭「あいち2022」プレイベント (6月19日) 宮田明日鹿さんに聞く「STILL ALIVE」と「手芸」

有松・鳴海絞会館で芸術祭参加アーティスト:宮田明日鹿さん(写真右)とチーフ・キュレーター:飯田志保子さん(写真左)の対談が行われました。参加者に感想を伺いました。

▲ 飯田志保子さんのお話で、「芸術祭では4つの会場全てを鑑賞してほしい」との事。地元有松会場では一つ一つの作品に向き会ってみようと思います。また、全会場を回って新たな世界観を体で感じたいと強く思いました。

△ 宮田明日鹿さんのお話を聞いて、地域や人のつながりを大切にしていることが伝わってきました。皆とお話しながら制作したいです。



【有松手芸部活動日】

2022.6.16(木)～7月までの木・金・土曜日

13:00～16:00 部室 旧加藤呉服店

2022.7.30(木)～10.10(月祝)までの木曜日

アール・ブリュットで社会に彩りと感動を！ (6月19日)

アール・ブリュットとは、自閉症や知的障害など障がいを持った方が描いた絵画作品のことです。この日有松コミセンで、「トポス有松」の榊原隆史さんの呼びかけで、アール・ブリュットの魅力を発信し社会に繋げていく活動(Wonder heart project)をされている(株)ハートウィングの永山雅美さんと、その企画に協力されている春日井誠さんから、その魅力と社会的役割についてのお話がありました。

会場に展示された鮮やかな作品を前に、「想像を超えた枠にとらわれない自由な発想の作品、豊かな色彩の作品は、広く社会に彩りと感動を届けてくれます。」との言葉に、参加された皆さんはしきりに頷かれていました。

また、有松あないびとの会の紙芝居や「ありまつ舎通ぐ」の林菜々子さんの歌の披露もありました。



～ Wonder heart project in 有松 ～

6月24日～10月16日 於:トポス有松

9月21日～ 9月25日 於:ありまつ舎通ぐ

お知らせ① あなたも浴衣で参加してね♪

有松ゆかたまつり 7月30日・31日に開催

コロナ禍で始まった有松ゆかたまつりが、本年も開催されることになりました。浴衣の方には特典もいっぱい！

次のような企画が進められています。お楽しみ満載です。

- 有松ならではの映えスポット設置
- 山車会館の無料開放
- 無料町並みツアー
- 広重の浮世絵を完成させよう！



お知らせ② 今後の無料町並みツアー(予約不要)

* 国際芸術祭あいち2022開催期間

◆ 7月30日31日 有松ゆかたまつり

11時・12時・13時・14時の1日4回出発

◆ 8月6日(土)～10月10日(月祝)の土、日、祝日

所要時間： 50分 受付：絞会館玄関

催事・行事の予定

7月 3日(日) 14:00 有松×よさこい 名古屋大学快踊乱舞 イオン有松7階駐車場

7月11日(月) 18:00 町並み相談会 有松コミセン

街道沿いギボウシ

7月24日(日) 9:00 一里塚清掃 有松まちづくりの会

7月25日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン

7月30日(土)31日(日) 10:00～ 有松ゆかたまつり 有松東海道一带

7月30日(土)～10月10日(月祝) 国際芸術祭「あいち2022」 有松界限

発行者 竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤 明美 (有松まちづくりの会 広報部員)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

